

上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子

大船山

第 9 号

令和 4 年 8 月 26 日

ホームページアドレス <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

ウサギはなぜカメに負けたのか

校 長 細江 幸次

36日間の夏休みが終わり、本日から2学期が始業しました。コロナ禍第7波の状況は大きく変わらないままですが、昨年・一昨年と比べて旅行・行楽に出かける方々が増え、かつての活気が戻ってきたようにも感じます。その分、この上矢作においてもコロナ感染が以前よりも増して私たちのすぐ近くにいる印象が強まっています。2学期は間もなく始まる運動会の取組をはじめ、多くの学校行事が計画されています。全校が集まる機会も当然増えてきます。当面は感染対策と熱中症対策を十分に行いながら活動を進めていきます。ご家庭の皆様にもいろいろとお手数をおかけしますが、ご協力をお願いします。

8月29日から末日まで夏休み作品展があります。その後、運動会の取組が本格化します。個々に感じ方の違いはあるかと思いますが、いずれも一生懸命取り組んでいる人ほど、「他の仲間と比べて自分はどうなのか？」ということが気になってくる行事です。

ウサギとカメの童話はみなさんご存知かと思います。この話を知っている上矢作っ子も多いことでしょう。この夏休みに読んだ本に次のようなことが紹介されていました。

「カメにとって相手はウサギでもライオンでも何でもよかったはずだ。なぜならカメは一遍も相手を見ていないんだよ。カメは旗の立っている頂上、つまり人生の目標だけを見つめて歩き続けた。一方のウサギはどうだ。絶えずカメのことが気になり、大切な人生の目標をたった一度も考えることをしなかったんだよ。賢いカメになって歩き続けなさい。」(「1日1話読めば心が熱くなる365人の生き方の教科書」より)

このコメントをどのように受け止めますか。人には得意・不得意、好き・嫌いがあります。また、小学生の場合、成長の仕方が同じ世代の仲間よりも早い人・ゆっくりな人という要素も非常に大きく影響してきます。このような個人差がある中で誰かとの競争は酷な場合が出てくることも少なくないでしょう。言い方を変えれば、あまり意味のあることではないと思います。それよりも自分の目標を決め、それに向かってねばり強く頑張る中で、「今までの中の一番」「自分の中で一番」を少しずつ積み上げていくことが大切であるし、何より自分にとって一番の励みになっていくと思います。まだまだ残暑が厳しい中での始業です。毎日の健康管理には十分留意して、83日間の2学期を頑張りましょう。



低学年 ドローン教室